



桜美林大学大学院 2026年度Ⅲ期入試
心理学実践研究学位プログラム 臨床心理分野
筆記専門試験 問題用紙

受験番号	氏名

- * これは問題用紙です。答えは解答用紙に記入してください。
- * 用紙が配布されても合図があるまで開かないでください。
- * 試験中、監督の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
- * 不正行為に対しては厳正に対処します。
- * 試験終了後、問題用紙も回収しますが、メモなどは消さなくてもかまいません。

I. 以下の文章を読み、カッコ内に適切な言葉や人名を入れなさい。

1. Piaget, J.の認知発達理論における概念で、子どもが自他の視点や感情の区別が可能となることを（a. ）化という。
2. Damasio, A.R.による（b. ）仮説とは、意思決定における身体的反応と情動の役割を論じたもので、ある事象に伴って過去に経験した身体反応と情動が類似の事象に遭遇した際に想起され、意思決定に影響するという主張である。
3. クライエントが不利益や偏見・差別を被っている場合に、支援においてとりわけ重要な課題となるのが、社会的公正を達成するための行動である（c. ）である。
4. 児童虐待の深刻化を受けて、地域連携の重要性が認識されるようになり、2004年に市町村の努力義務として（d. ）対策地域協議会が設置されるようになった、
5. 条件づけなどの経験を通じて、生得的で生理的基礎があり、個体・種属の維持に不可欠な一次的要求充足の手段や手掛かりとなったものを求める傾向を（e. ）という。
6. アルコール中毒や極度の栄養失調に起因する記銘障害、健忘、作話、見当識障害を主症状とする精神症状を（f. ）という。
7. （g. ）は、Osgood, C.によって、概念（対象）の意味構造のモデルを構成するために開発された測定法であるが、近年では、イメージや態度の測定方法として援用されている。
8. 大脳辺縁系のうち、（h. ）は、過去の記憶を利用して危機を避けることや、快—不快などの情動の生成に関わる部位である。
9. 個人の内的要因（性格、感情、認知など）と外的環境（社会的状況や物理的環境）が互いに影響し合いながら行動や心理状態が形成されることを（i. ）という。
10. 児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものを（j. ）という。
11. 障害を理由とした不当な差別を禁止し、障害者の権利擁護と社会参加の促進を目的とした法律を（k. ）という。
12. 学力に及ぼす友人関係の影響を調べるために、「友人関係が良好なほど、学習をする

機会が増加し、結果的に成績が良くなる」という仮説を立てた。この仮説を検証するために用いる統計的解析方法を（**l.** ）という。

13. 養育者が乳児の未熟な自我機能を支えるために提供する環境であり、乳児が外界を安全に体験するための基盤となるものを、Winnicott, D.は（**m.** ）と呼んだ。

14. 心理学研究において、「不安」や「知能」といった概念を質問紙得点や行動指標によって定義する方法を（**n.** ）という。

15. 認知症支援において、本人を中心に尊厳を尊重してケアする考え方を「（**o.** ）ケア」という。

16. ナルシシズム（自己愛）、マキャベリアニズム（他人を操作する冷酷さ）、サイコパシー（衝動的で反社会的な性質）という、社会的に望ましくないとされる3つの性格特性を総称して（**p.** ）という。

17. Köhler, W.は、高いところにあるバナナに手が届かないチンパンジーが、最初は「踏み台」として見ていなかった箱を「積み重ねて使う道具」として使用してバナナを取った実験から（**q.** ）という概念を提出し、洞察の重要性を指摘した。

18. 睡眠中も脳が活発に活動し、急速眼球運動が認められる時期のことを（**r.** ）という。

19. せん妄の危険因子は順に、準備因子、誘発因子、（**s.** ）である。睡眠薬等の薬剤は（**s.** ）となる。

20. 21世紀における健康づくり運動（健康日本21）は（**t.** ）法を根拠としている。

Ⅱ．以下の設問について指定の字数で回答しなさい。

1. あなたが心理職として、多職種から成るチームの一員として、クライアントへの心理的支援を行う際に留意すべき点について、300文字以内で述べよ。
2. トラウマ・インフォームドケアとは何か。臨床心理学的支援における意義や重要性も含めて300字以内で述べよ。
3. 「新しいカウンセリング法は従来法よりも抑うつ症状を改善する効果がある」という対立仮説を検証したいと考えている。この場合の帰無仮説は「新しいカウンセリング法に効果はない」である。この仮説を検証するための具体的な研究計画法について300字以内で述べよ。ただし、サンプルサイズおよび抑うつ症状の評価方法についてはここでは問題にしない。
4. あなたは会社の健康相談室に勤める心理職としてストレスチェックを行った。集団分析を行ったところ、全体的に上司のサポートが弱いという結果が出た。そこで管理職を対象に部下をほめることを学ぶ研修を行うことになった。実施する際に留意すべき点や具体的な方法の例を300字以内で述べよ。

Ⅲ. 以下は『Well-being 向上を目的としたオンライン行動活性化プログラムの効果の検討ーランダム化比較試験ー』（首藤祐介・山本竜也，2024, 『認知行動療法研究』第 50 巻 第 3 号，pp.157-168）に基づいて作成した資料である。本研究の目的および仮説と照らして，どのような結果が得られたといえるか。分析結果（表）に基づき，400～600 字で記述しなさい。

※問題本文は著作権上、web ページに掲載することができません。

出典を参考にしてください。

出典

『Well-being 向上を目的としたオンライン行動活性化プログラムの効果の検討ーランダム化比較試験ー』（首藤祐介・山本竜也，2024, 『認知行動療法研究』第 50 巻 第 3 号，pp.157-168）

※問題本文は著作権上、web ページに掲載することができません。
出典を参考にしてください。

出典

『Well-being 向上を目的としたオンライン行動活性化プログラムの効果の検討ーランダム化比較試験ー』（首藤祐介・山本竜也，2024，『認知行動療法研究』第 50 巻 第 3 号，pp.157-168）

※問題本文は著作権上、web ページに掲載することができません。

出典を参考にしてください。

出典

『Well-being 向上を目的としたオンライン行動活性化プログラムの効果の検討ーランダム化比較試験ー』（首藤祐介・山本竜也，2024，『認知行動療法研究』第 50 巻 第 3 号，pp.157-168）

MEMO ご自由にお使いください。
